

様式第9

平成30年度 電源立地地域対策交付金事業評価報告書

名維 第 1037 号
平成31年 3月 27日

三重県知事 様

住所 名張市鴻之台1番町1番地

氏名 名張市
名張市長 亀井 利克 印

平成30年6月29日付け三重県指令雇経第05-133号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金（水力枠）交付要領第10第2項の規定により別紙のとおり報告します。

- (注) (1) 別紙は次の事業評価総括表及び事業評価個表の様式によること。
(2) 用紙の大きさは、日本工業規格に定めるA4とし、横位置とすること。

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	市道大屋戸短野線道路整備事業	名張市	9,238,320	4,400,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道大屋戸短野線道路整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		名張市				
交付金事業実施場所		名張市 梅が丘南1番町外 地内				
交付金事業の概要		名張市大屋戸・梅が丘地内における道路舗装の路面摩耗が著しいため舗装補修する。 施工延長 L=93.3m W=9.75m(平均) 表層工 A=910m ² 路盤工 A=910m ² 不陸整正工 A=910m ² 土工 V=27m ³ 撤去工 V=91m ³ 区画線工 L=316m 道路鋳撤去設置工 N=1個				
交付金事業に関する市町の主要政策・施策とその目標		新・理想郷プラン(平成28年度～平成37年度) 市内道路網の整備 交通利便性の向上と、円滑で安全な通行を確保するために重要な役割を担う道路について優先的に進めます。 【目標】 総舗装補修予定延長に占める舗装完了延長の割合 91% (平成30年度)				
事業開始年度		平成25年度	事業終了(予定)年度	平成31年度		
事業期間の設定理由		7カ年計画で実施しているため。				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	
	総舗装補修予定延長に占める舗装完了延長の割合 91%	舗装完了延長/総舗装補修予定延長 930m	成果実績	%	平成30年度	
			目標値	%	91	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	事業完了後に効果を把握するため事業実施年度で評価する。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	各年度の舗装補修工事延長		活動実績	m	127.25	142	93.3
			活動見込	m	127.25	142	93.3
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考			
総事業費	8,347,320	11,331,360	9,238,320				
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額			
道路整備		条件付き一般競争入札	株式会社富士グリーンテック三重営業所	9,238,320			
交付金事業の担当課室	名張市都市整備部維持管理室						
交付金事業の評価課室	名張市都市整備部維持管理室						

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する市町の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該市町の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当

該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。

- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

実施体制資料

(平成30年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営等措置	市道大屋戸短野線道路整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		名張市		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	舗装補修工事	一般競争入札	株式会社富士グリーンテック 三重営業所 (名張市)	9,238,320
	舗装補修工事 (うち舗装補修工事のみ)	株式会社 富士グリーンテック 三重営業所の委託(請負)先	有限会社 新栄建設 (名張市)	2,570,400
	計			9,238,320